

中島 聡 牧師

「実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、…双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。」

エフェソ二：一四〜一六

《自己紹介の続きです》 私は関西学院大学神学部を卒業して、最初の赴任地として広島流川教会に遣わされました。原爆ドームから直線距離わずか一kmほどのところに位置していたため、原爆ドーム同様、枠組みや外壁を残して、焼失してしまいました。赴任時、立派な会堂の奥壁倉庫に真っ黒焦げの十字架がひっそりと置かれていたので、主任牧師に「どうして、戦争を繰り返さないため、また原爆の恐ろしさを忘れないように、この十字架を《平和のシンボル》として会堂に掲げないのですか？」と質問すると、「そのとおり、まさに原爆の恐ろしさだ。」

『被曝十字架の放射能の影響が恐い』という声があるのだよ。」と教えられました。「ヒロシ

マ」の難しさ、平和を伝えることの難しさを思い知らされた出来事でした。

《二〇一五年の伝道く平和を求めて》 新年を迎え、

「明けまして、おめでとうございます。」と御挨拶できることに感謝する一方、相次ぐテロ、学校襲撃、幼い少女たちが略奪され、「人間爆弾」にさせられるという悲惨な状況に心が痛みます。どうして人類は「平和」でいることができないのでしょうか。今一度、平和について考えてみる必要があると思えます。

「平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」（マタイ五・九）キリスト教会にとって「平和」は、イエス・キリストから直接に示された「福音」です。福音とは、教会が堅持し、そして、宣べ伝えるべきものです。自分達が平和を守っていくと同時に、宣教していくことが大切なのです。では、どうすれば平和を守り、宣教していくことができるのでしょうか。

《平和は人には実現できない》 平和の福音宣教は、

「人間の力で平和は築けない」ことを知ることから始まると言えます。「強力な兵器が大量にあれば、それが抑止力となり世界の平和が守られる」と言われてきましたが、そうでないことが明らかになりました。むしろ兵器が拡散し、テロ行為を助長することになっていきます。高度の科学技術、生産技術によって生み出されるのが兵器です。要するに「人間の最高の力」の象徴である「兵器」では決して平和はこないのです。また一方で、たとえナイフ一本、

棒切れ一本になっても、極端な話し、素手になっても争いは止まないでしょう。人間には、「欲望」という罪があるからです。

《平和の主を信じる信仰が平和を築く》 「神は

その十字架の血によって平和を打ち立て」（コロサイ一・二〇）られました。人間の力ではどうしようもできない「欲望・罪」に対して、イエス・キリストは十字架において御自身の命を与えろという「アガペー・神の愛」によって平和を打ち立てられました。この「神の愛」を信じる他に平和は実現しないのです。「火のように赤い別の馬が現れた。その馬に乗っている者には、地上から平和を奪い取って、殺し合いをさせる力が与えられた。」（ヨハネ黙示録六・四）平和を奪い取るサタンの力は教会にも及びます。「私達が祈ったって、どうにもならないよ。」と、祈ることを、そして「神の愛による平和」を宣べ伝えることをしなくさせるのです。

《信じ祈り続け、宣べ伝え続ける》 「悪魔の策

略に対抗して立つことができるように、神の武器を身に着けなさい。…立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい。…どのような時にも、

“靈”に助けられて祈り、願い求め”なさい。（エフェソ六・一〜一八）平和の主を信じ祈る礼拝祈禱会を第一とし、一人でも多くの人々に「神の愛」を伝えることが平和への一歩となるのです。

「平和の福音を告げる準備を履物」として新年を歩んで参りましょう！